

解 答

1 (D)	2 (C)	3 (B)	4 (B)	5 (C)	6 (D)
7 (A)	8 (C)	9 (A)	10 (D)	11 (C)	12 (A)
13 (B)	14 (B)	15 (C)	16 (C)	17 (B)	18 (C)
19 (A)	20 (A)				

1. 「私は、6月に受ける試験に合格するために、もっと一生懸命に勉強します」

▶ 文意より(C),(D)が候補になるが、空欄のあとに動詞passが続いているので(D)を選ぶ。(A)はso as toとなっていれば正しい。

□ **in order to do** 「～するために/～するように」 (= so as to do)

▶ 不定詞が『目的』であることをはっきり示すために, so as to do / in order to do の形をとることがある。ともに文語的。

I started early *in order to* avoid the rush hour.

= I started early *so as to* avoid the rush hour.

(私はラッシュアワーを避けるために早く出発した。)

cf. **in order that** ~「～する目的で/～しようとして」 (= so that ~)

She spoke loudly *in order that* the people in the back might hear.

(後ろの人間に聞こえるように、彼女は大きな声で話した。)

▶ in order thatもso thatとほぼ同じ意味で使われる。ただし, in order thatのほうがかたい表現で, in order that節の中ではmayが使われることが多い。

2. 「私たちは、ハナコが結婚式のための服に着替えることができるよう、彼女を一人にしてあげよう」

▶ so that S can doは「Sが～できるように」という目的の意味の副詞節。get changed 「着替える」

□ **so that S can[will/may] ~**「～するために」 (= in order that S can[will/may] ~)

Lock the door *so that* no one *can* get in.

(誰も入れないように、ドアに鍵をかけなさい。)

▶ canとwillは口語調, mayは改まった言い方に用いられる。また口語ではthatが省略されることも多い。

3. 「私は6年前に日本に来て以来ずっと名古屋に住んでいる」

▶ 現在完了進行形は、現在にいたる動作の継続を表す。since「～して以来」という接続詞を用いることが多い。

■ 現在完了形とともに使うことができる表現

before(以前に)	ever(今までに)	lately(最近)	just(ちょうど今)
-------------	------------	------------	-------------

now(今まで)	today(今日)	recently(最近)	for …(…の間)
----------	-----------	--------------	------------

since …(…以来)	so far(今までのところ)
--------------	-----------------

this week/month/year](今週[今月/今年])	for the last[past] … days(ここ…日)
----------------------------------	---------------------------------

4. 「医師は私にこれ以上卵を食べないよう忠告したので、私は卵を買うことをやめた」

□ **advise A to do** 「Aに～するように忠告する」

□ **stop doing** 「～するのをやめる」

▶ stopには**stop to do** 「～するために立ち止まる」の形もあるが、このto doはstopの目的語ではなく『目的』を表す**副詞的用法**の不定詞である。

He stopped taking pictures. (彼は写真を撮るのをやめた。)

He stopped to take pictures. (彼は写真を撮るために立ち止った。)

5. 「メアリーは英語が大変好きなので、他のどの教科よりも英語に費やす時間が多い」

▶ 「比較級+than any other+単数名詞」で「他のどの～よりも…」の意。

□ **so … (that)** ~「とても…なので~/~するほど…」

The lecture was *so* boring *that* half the students fell asleep.

(その講義はとても退屈だったので、生徒の半分が寝てしまった。)

□ 比較級 + than any other + 単数名詞 「他のどの～よりも…」

Alaska is *larger than any other state* in the United States.

(アラスカは合衆国のほかのどの州よりも大きい。)

6. 「あと10分で中部国際空港に到着の予定です」

► このinは現在からかかる時間を表して「～後に」の意味。

■ in 「今から～で[の後に]/～経つと」 ——『時の経過』

► 「～後に」の意味ではinは未来に, afterは過去に用いることが多い。「～以内に」の意味を特に強調したい場合にはwithinを用いる。

cf. { I'll be back in[within] an hour. (1時間で[以内に]戻ります)
I came back after an hour. (1時間後に戻ってきた)

7. 「今日では、家でDVDを見ることのほうが好まれるせいで、映画館へ行く人が減った」

► peopleという複数内容の語を修飾する形容詞fewer「より少数の」を選ぶ。他に small「少ない」を使って smaller number of peopleとすれば同様のことが言える。

► (B)littleは量がほとんどないことを表す形容詞なのでpeopleを修飾できない。
(C)lesser「より劣った/小型の」

□ prefer to do (rather than (to) do) 「～することが(…するより)好きである」

I prefer to rent the video rather than (to) see the film in a theater.
(映画館で映画を観るよりビデオを借りる方がいい。)

8. 「後ろの席の生徒たちがおしゃべりをしていたので、先生の話が聞こえなかった」

► 知覚動詞の用法の問題。hear A do 「Aが～するのが聞こえる」

□ hear A do 「Aが～するのが聞こえる」

I think I heard someone knock on our front door late last night.
(昨夜遅く、誰かが玄関をノックするのが聞こえたように思う。)

■ 「SVO do」の形をとる動詞

「SVO do」の形をとる動詞は, make / have / let の使役動詞3つと, see / hear / feelなどの知覚動詞に限られる。

(1) 使役動詞

- make A do 「(強制的に)Aに～させる」 (= force[compel]A to do)
□ have A do 「(自分でしないで)Aに～させる[してもらう]」 (= get A to do) ◇ 重要
□ let A do 「(望みどおり[勝手に])Aに～させる」 (= allow A to do)

(2) 知覚動詞

- see A do 「Aが～するのが見える」 □ watch A do 「Aが～するのを見守る」
□ hear A do 「Aが～するのが聞こえる」 □ feel A do 「Aが～するのを感じる」

9. 「タロウは新しい仕事のために最近はとても忙しい」

□ because of ~ 「～のために/～が原因で」

Mike couldn't join the team because of his broken arm.

(マイクは腕の骨折のせいで、チームに加わることができなかつた。)

10. 「そのパレードは2年に1度開催される」

□ every + 基数 + 複数名詞 「～ごとに」 (= every + 序数 + 単数名詞)

cf. every two days = every second day 「1日おきに/2日ごとに」

I meet him once every six months.

(= I meet him once every sixth month.)

(私は彼に6ヶ月ごとに1回会います。)

11. 「ジョージは肩をすくめて『君が彼と結婚してもしなくても、僕は気にしないよ』と言った」

► (A)shield「～を保護する」, (B)suspect「～を怪しいと思う」, (C)shrug「(肩)をすくめる」, (D)suspend「(法律・活動など)を一時停止する」

□ shrug one's shoulders 「肩をすくめる」

He only shrugged his shoulders when we asked for directions.

(私たちが道順を尋ねたら彼はただ肩をすくめただけだった。)

12. 「命を国に捧げることは、人にできる究極の犠牲的行為だ」

- ▶ (A)sacrifice「犠牲(的な行為)」を選ぶ。(B)revenge「復讐」, (C)nuisance「迷惑な人[物・事]」, (D)sign「兆候」

13. 「伝説によると、アーサー王はこの教会内に埋葬されたとのことである」

- ▶ according to legendで「伝説によると」という成句。この場合, legendは無冠詞で用いられる。

- ▶ (A)comment「(~に対する)論評」, (C)story「物語 ; (建物の)階」, (D)tale「(架空・伝説上などの)話、物語」

□ according to ~ 「(情報源)によれば」

According to today's newspaper, there was a big fire in Tokyo

(今日の新聞によれば、東京で大家事があった。)

- ▶ according to ~には「~に従って/~に応じて」の意味もある。

The employees were paid according to their ability.

(従業員たちはそれぞれの能力に応じて給料を支払われた)

14. 「光が届かないということは、これらの暗い洞窟内では何も育たないということになる」

- ▶ (B)absence of ~ 「~の不在、欠如」を選ぶ。

- ▶ (A)shield「盾 ; 防御物」, (C)origin「根源、起源」, (D)ray「光線」

□ mean that ~ 「~ということを意味する」

The siren means that it's time to go home.

(そのサイレンは帰宅時間を知らせるものだ。)

15. 「その問題を解決するために私に何ができるか、検討してみましょう」

- ▶ (C)seeを選ぶ。このseeはwh節やif節を目的語にすると、事前に「~かどうか見てみる、調べる」という意味である。一方, look + wh節は命令文で「(事後的なこと・今起こっていること)を考えてみなさい」という意味になる。Let meと一緒に用いる場合はLet me look at ~となる。

cf. Will you first see if the car is worth repairing? [see + if節]

(まずその車が修理するだけの値打ちがあるか見てくれませんか。)

16. 「ジェーンはハーバード大学への出願が受理されたと聞いて興奮した」

- ▶ application「申込み、出願」にふさわしい動詞は,(C)accept「~を受け入れる/ ~を受け取る」である。

- ▶ (A)apply「~を応用する/(物・事を)申し込む(for ~)」, (B)adapt「~を改造する」, (D)accomplish「~を成し遂げる」

17. 「日本はイギリスを破ったことで、サッカー競技会の次回戦に進出する資格を得た」

- ▶ (B)qualify for ~ 「~の資格を得る」を選ぶ。なお(D)enterについては, enter for ~だと「~を申し込む」となり、文意にあわない。

- ▶ (C)succeed「~の後を継ぐ/(地位・身分などを)継ぐ(to ~)」

□ qualify for ~ 「~の資格を得る/(スポーツなどで)~に勝ち残る」

You may be able to qualify for unemployment benefit.

(あなたは失業手当の資格を得ることができるかも知れない。)

18. 「休暇旅行にはいくらお金を費やすことができますか」

- ▶ (C)affordはcan afford to doで「~する余裕がある」の意。

- ▶ (A)invest「(金・資本)を投資する」, (B)account「(ある割合を)占める(for ~)/(理由・原因を)説明する(for ~)」, (D)contribute「~を(…へ)寄付する(to ~)」

□ can afford to do 「~する余裕がある」

- ▶ affordはcan, could, be able toを伴って、通例否定文・疑問文で用いる。

This book is too expensive. I can't afford to buy it.

(この本は高すぎて私にはそれを買う余裕がない。)

19. 「子供の時、私は犬が怖かった」

- ▶ **be afraid of** ~ 「～を恐れる」 選択肢の中で通例 of がつくのは afraidのみ。
- ▶ (B)frightening「ぞっとするような」, (C)scary「恐ろしい；臆病な」, (D)terrible「猛烈な、ひどい」

□ **be afraid of** ~ 「～を恐れる/～を怖がる」

We are afraid of big aftershocks.

(我々は強い余震を恐れています。)

cf. **be afraid to do** 「(結果を心配して)怖くて～できない」

I was afraid to talk to him.

(私は怖くて彼に話しかけられなかった。)

20. 「日本語の中には英語に訳しにくい言葉がある」

- ▶ (A)はtranslate A into Bで「AをBに翻訳する」の意。
- ▶ (B)express「(思想・感情など)を表現する」, (D)replace「～に取って代わる」

□ **translate[put] A into B** 「AをBに翻訳する」

He translated the novel from English into Japanese.

(彼は英語の小説を日本語に翻訳した。)